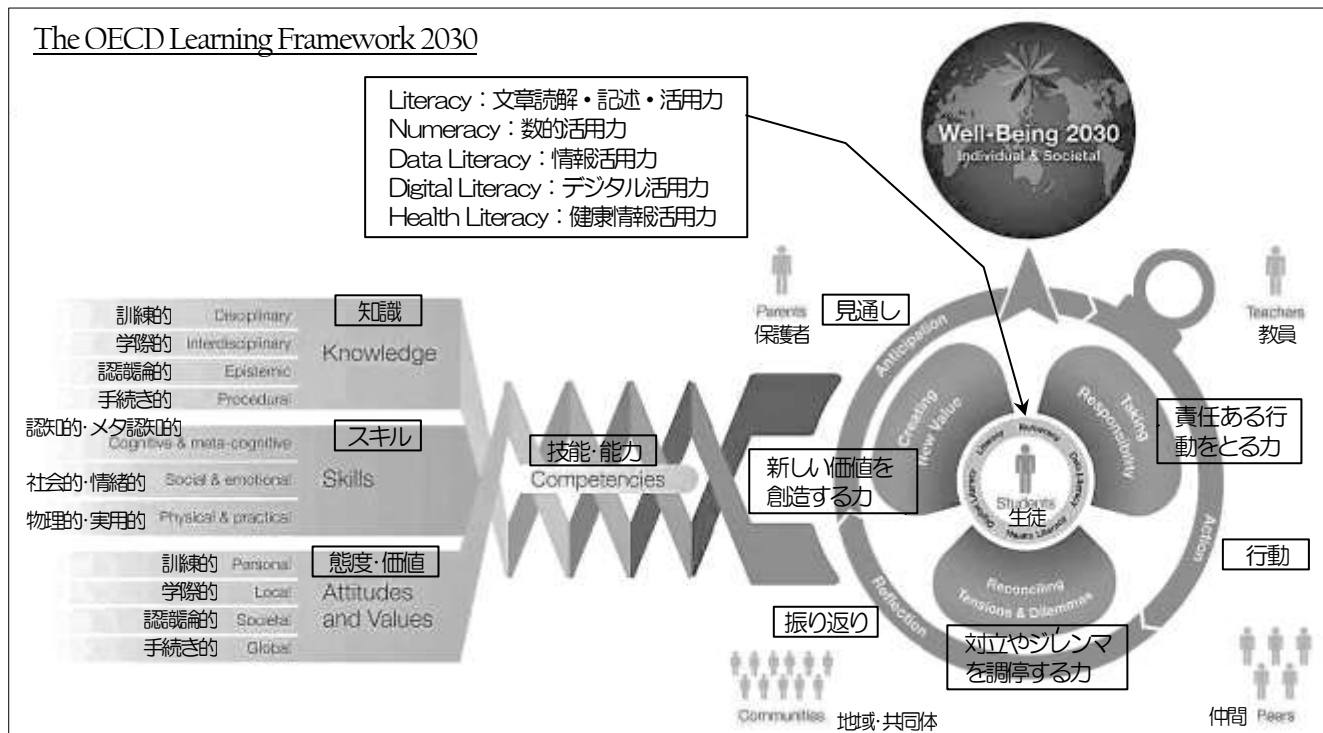
	世田谷区立砧中学校 校長室より 令和4年 6月20日 第 18 号 校長 大坂 崇		教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
	社会性の学び		知的な学び	心と体の学び	
	自他の尊重 地域貢献		主体的な学び 学習の定着	心身の健康	

Education 2030

世界の教育の動向に目を向けて

1 Education 2030 Project (OECD: 経済協力開発機構)



2 「変革を起こす力のあるコンピテンシー (DeSeCo: Definition and Selection of Competencies)」 と「私たちの社会を変革し 私たちの未来を作り上げていくためのコンピテンシー」

ある変革を起こす力のあるコンピテンシー (DeSeCo)	自律的に活動する	異質な集団で交流する	相互作用的に道具を用いる
	A 大きな展望の中で活動する B 人生計画や個人的プロジェクトを設計し実行する C 自らの権利、利害、限界やニーズを表明する	A 他者とうまく関わる B 協働する C 紛争を処理し、解決する	A 言語、シンボル、テキストを相互作用的に用いる B 知識や情報を相互作用的に用いる C 技術を相互作用的に用いる
私達の社会を変革し、未来を作り上げるためのコンピテンシー	責任ある行動をとる力	対立やジレンマを克服する力	新たな価値を創造する力
	前提: 自分の成果物について責任をもって説明できる力、自分のとった行動を振り返ったり、評価する自己調整できる力が大切である <u>責任感・問題解決・適応力</u>	前提: 多様な考え等の調停に、ジレンマ対応の熟達が必要。二択や単純な解決策は稀。個々が総合的に考える事が必要。 <u>矛盾し相容れない考え・立場でも、互いのつながりや関連性を考慮して、統合的に考えて行動する力</u>	前提: 新たな成長を進めていく上で、サービスやビジネスモデル等を考える時、他者と協働して新しい仕組みを生み出さなければならない。 <u>適応力・創造力・好奇心・新しいものの受け入れる開かれた意識</u>
目指す生徒像	自主・自律	協働共生・地域貢献	創造・挑戦

3 最後に・・・「なぜ ”2030” か？」 (日本で言う「2030年問題」とは違います) 2030年に「世界全体があらゆる分野で様々な変革の波が押し寄せると予想」されているから 2030年の時代を生きるのにどんな教育が必要か、OECD加盟国で考えようという趣旨 2030年は次の学習指導要領の頃。日本の生徒は「処理能力は高いが、思考力とコミュニケーション力が課題」。日本の教員が「教育の世界標準」で生徒を育てられるか・・・岐路です。